

知って備える防災メモ

第72回



暴風雪のときに考えられること

冬になると天気予報で『西高東低の気圧配置』という言葉を目にする機会が多くなります。

これは、ユーラシア大陸に高気圧があり、東太平洋に低気圧がある気圧配置のことで、天気が荒れて吹雪になる場合があるため、外出をする際には注意が必要です。

暴風雪警報が発表されたら



暴風雪警報の発表中は、一瞬で猛吹雪になるなど、天気の変化が激しい場合があります。

暴風雪が予報される日は不要不急の外出は控えてください。外出中に暴風雪に遭遇したときは、近くの建物などに避難しましょう。

運転中に天候が急変した場合、対向車や歩行者などを見分けることが難しく危険です。無理に運転を続けず、安全な場所に停車させて天候の回復を待ちましょう。

停車時にエンジンをつけたままにしていると排気ガスが車内にたまり、

一酸化炭素中毒を起こす危険性があります。エンジンを止めて、定期的に車内を換気するように心掛けておくことが大切です。

家で過ごすときの注意点



エアコンは室外機が雪に埋まると動作が停止することがあります。

また、ストーブの給排気口が雪でふさがると不完全燃焼を起こします。天候を見ながら家の周りの点検と除雪を行うようにしましょう。

準備できていますが停電時の備え



自然災害で発生する停電は長く続く傾向にあり、冬の停電は暖房などが使えなくなるおそれもあります。寒さ対策を含めた停電への備えをしっかりとしましょう。

▼問い合わせ 総務グループ

(☎⁸⁵1130)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

炎-HOMURA-登別支部

平成13年に千歳市で発足したYOSAKOIソーランチーム『炎-HOMURA』。登別支部は、その8年後の平成21年に誕生しました。現在のメンバーは5人。千歳市にある本部のメンバーを加えた男女72人で活動しています。毎週水曜日の19時から21時まで、総合体育館で活動しているほか、日曜日には、千歳市で本部と合同練習を行っています。

「みんなの熱い踊りで会場を巻き込み、観客と一体になって楽しめるのがよさこいの魅力です」と話すのは、同チーム代表の渡部正剛さん。毎年6月に札幌市で行われている『YOSAKOIソーラン



熱く力強い踊りで、よさこいの魅力を多くの人に伝えていきたい



▲息の合った踊りをみせるメンバー

祭り』をはじめ、道内外のさまざまな祭りやイベントに、年間を通して参加しています。

渡部さんは「毎年変えている踊りの振り付けや配列を覚えるのは大変かもしれませんが、その分動きが揃うと達成感があります。衣装や小道具なども見所です」と笑顔を見せます。

登別支部発足当初から所属しているという菅原美砂江さんは「体を動かしたくてよさこいを始めました。活動を通じて、さまざまな地域・年代の方と繋がることができたので楽しいです」と話してくれました。

初心者の方も大歓迎の『炎-HOMURA-登別支部』。活動に興味のある方は登別支部事務局の菅原さん(☎090-18276-0869)まで。